

令和7年度第2回佐倉市景観審議会 議事録

日 時	令和8年1月27日（火）10時～12時
場 所	佐倉市役所 議会棟2階 第2委員会室（オンライン併用）
出席者	木下 剛会長、中島 伸副会長（オンライン参加）、内田 儀久委員、小川 勝寛委員、森田 敬介委員、山崎 龍太郎委員、佐久間政知委員
事務局	都市部長 菅澤 雄一郎、都市計画課長 菊間 明美、児島 拓主査、野澤 芽与主査補、小林 美華主事、小出 寛子主事
議事	1. 「わたしが見つけた佐倉の景観」について ①学童保育所での聞き取り調査の報告 ②応募結果、賞について、投票結果報告、カレンダーについて 2. その他（報告事項）
配布資料	資料1 佐倉市景観審議会委員名簿 資料2 会議の運営について 資料3 学童保育所聞き取り調査報告 資料4 わたしが見つけた佐倉の景観 募集結果について 資料5 投票結果 資料6 学童保育所投票報告 資料7 景観委員賞にふさわしい写真投票結果 資料8 カレンダー委員投票結果 資料9 応募写真応募者コメント一覧
傍聴人	0人

【議事録】

	内 形
	<p>【委員紹介】</p> <p>【会長、副会長選出】 景観条例施行規則第12条第1項の規定により、木下委員を会長に選出。同規則第12条第2項の規定により、中島委員を副会長に指名。</p> <p>【会議の運営について】 資料2のとおり決定</p> <p>【議事説明】</p>
事務局	<p>1. 「わたしが見つけた佐倉の景観」について</p> <p>① 学童保育所での聞き取り調査の報告</p> <p>② ・応募結果報告 ・賞について ・投票結果報告 ・カレンダーについて</p>
木下会長	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>事務局より、わたしが見つけた佐倉の景観の応募結果と、景観委員賞をどうするかという発議がございました。</p> <p>これにつきまして、ご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。ここで選ぶ形になりますか。</p>
事務局	<p>そうです。</p> <p>なお、事前に本日欠席されている田邊先生と永村先生にも選んでいただいております。田邊先生は46番の『菱の舞・印旛沼遠望』を選ばれました。</p> <p>いただいたコメントとしては、「空と水面は通常1対1で撮影することが多いけれど、この写真は水面を大きく写しており、印旛沼の広さが感じられ、奥行きが伝わる写真なので選びました」というものでした。</p> <p>永村先生も「46番か65番がよい」とのことで、「80番は佐倉の皆さんの心の中に根付いている景色なので、46番と65番がよいと思います」というコメントをいただいております。</p>

木下会長	<p>いかがでしょうか。ご意見をいただければと思います。</p> <p>ほかにもご説明の中でご意見を伺いたい点がありますが、まずこの景観審議会委員賞の決着をつけたと考えております。</p> <p>先ほどの説明にありましたように、人気投票を避け、委員会としての視点、特に「佐倉らしさ」を重視したいという趣旨があります。一般投票では、佐倉でなくても撮影できる写真が選ばれてしまう可能性がありますので、審議会としては佐倉らしい写真を選びたいと考えております。</p> <p>いかがでしょうか、内田委員。</p>
内田委員	<p>私も46番がよいと思いました。</p> <p>65番も非常に良い景観ですが、稲を掛ける作業は佐倉では昭和の時代で一旦終わっているのではないかと。現在はコンバインなどが導入されており、これは公園内で新たに行われているものではないかと感じました。</p> <p>また、「はざがけ」という言葉はこちらの鑄木とか佐倉ではあまり使わず、「おだかけ」と呼ばれていたと記憶しています。</p> <p>さらに、個人的な印象ですが、「菱の舞」と「印旛沼遠望」という名称を一緒にすると、「菱の舞」と手前の菱を指しながら「印旛沼遠望」と言うと、視点が遠景の方に向いてしまう印象があります。これは応募者の表現ではありますが、そのようなことを感じました。</p> <p>以上より、私は46番がよいと考えます。</p>
山崎委員	<p>佐倉の特性があらわれる写真という点では46番か80番になると思いますが、個人的には65番に景観らしさを感じます。ただ「佐倉らしさ」を考えると少し外れると思います。</p> <p>先ほど内田委員が触れた「おだかけ」についても、佐倉らしさという観点で考えると、46番がよいと考えます。</p>
佐久間委員	<p>私も個人的には46番に投票しました。</p> <p>印旛沼という佐倉の大きな特徴を捉えている点が気に入っています。</p> <p>65番の志津の写真も奥行きがあり、農村の原風景に近いと思いましたが、やはり印旛沼が佐倉の特性を最もよく表していると感じました。</p> <p>以上です。</p>
木下会長	<p>ありがとうございます。ほかの委員はいかがでしょう。</p> <p>現在、46番を推す声が多いように思いますが、ご異論がなければ、人数の多かった46番を景観審議会委員賞として選びたいと思います。よろしいでしょうか。</p>

	<p>オンライン参加の先生方もよろしいでしょうか。</p>
中島副会長	<p>はい。</p>
木下会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは皆さんご賛同いただきましたので景観審議会委員賞はこの No46 の『菱の舞・印旛沼遠望』という作品にさせていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>他に、事務局から説明のあった事項につきまして、ご意見・ご質問があればお願いいたします。</p> <p>かいつまんで申し上げますと、今回、子どもたちへの啓発という意味で非常によい活動ができたと考えていること、また課題として千代田地区の応募が2件と少なかったこと、これをどう改善するかということです。</p> <p>さらに、オリジナルテーマ「原風景」の応募が0件であったという点です。</p> <p>あと投票方法について、シールを貼る方式では1人で何枚でも投票できてしまう可能性があるという説明がありましたが、現場では「シールは1人3票まで」という注意書きがされていたのでしょうか。</p>
事務局	<p>現場では「1人3票まで」という注意書きを掲示し、シールを3枚まとめて1セットにしたものを置いておりました。</p> <p>ただし、たくさん取ろうと思えば何票でも入れられる状態ではありました。</p>
木下会長	<p>その3票は、必ず3作品に1枚ずつ貼るものなのでしょうか。それとも、同じ作品に3枚貼る方もいらっしゃるのでしょうか。</p>
事務局	<p>「1作品に3票は控えてください」という注意書きまでは行き届きませんでした。</p> <p>次回からは「1作品につき1票まで」と明記して実施したいと考えております。</p> <p>市民の方や職員の方からは「楽しかった」というご感想もいただき、極端に多い票が入った作品もありませんでしたので、皆さんが真面目にルールを守って参加してくださった印象です。</p>
木下会長	<p>千代田地区の応募が少なかった点について、今後の対応の可能性はありますか。</p>

	<p>仕方ないとするのか、工夫の余地があるのか、何かアイデアがあれば伺いたいと思います。</p> <p>これは次回に向けて考えていけばよいことですので、また何かあればご提案いただければと思います。</p> <p>オリジナルテーマについては、少し難しかったこと、また自然や里山のテーマに吸収されてしまった可能性が大きいと考えています。</p> <p>先ほど「カレンダーとの区別が曖昧だった」という点について、改めて詳しく説明していただけますか。</p> <p>これはどういう意味だったのでしょうか。</p>
事務局	<p>委員の皆様には、カレンダーから各季節で写真を選んでいただき、それとは別に景観委員賞にふさわしい写真を季節ごとに選んでください、という形で依頼をいたしました。</p> <p>しかし、景観委員賞を与える意味について、今この画面の下2行にあるような趣旨を、最初の依頼で十分にお示しできていませんでした。</p> <p>そのため、今回はあらかじめ「委員賞ではこのような視点で写真を選ぶ」という説明を明確にした上でお願いしたいと考えております。</p>
木下会長	<p>そうしますと、選定の際に委員の皆さんが書かれている趣旨と、実際に選んだ基準が合っているかどうかという点について、もし「自分は違う基準で選んだ」という委員の方がいらっしゃれば教えていただきたいと思います。</p> <p>大丈夫でしょうか。</p> <p>では、次回もこの観点で審議会賞を設定するという事でよろしいでしょうか。</p> <p>そのようにさせていただきます。</p>
事務局	<p>それでは、「わたしが見つけた佐倉の景観」の応募結果と景観委員賞につきましては、ご意見がなければ以上とさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、景観カレンダーについて、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>=====景観カレンダーについての説明=====</p>

木下会長	<p>カレンダーの発行スケジュールについては、今いただいたご意見を反映し、微修正は可能です。何かあればご意見をお願いします。</p> <p>では、佐久間委員、お願いいたします。</p>
佐久間委員	<p>7月のように周囲が黒ベタになっているデザインですが、日玉を縦組みにできないでしょうか。</p> <p>縦型写真の場合、例えば11月にもありましたが、日玉を右または左に寄せるというデザインも良いのではないかと思います。</p> <p>個人的なことですが、以前印刷会社に勤めていた経験から、黒ベタは印刷が難しいので避けた方がよいと思います。</p>
木下会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>日玉をどちらかに寄せる場合、写真をさらに大きくすることになりますか。</p>
佐久間委員	<p>そうです。</p> <p>写真の天地をもう少し使えるので、縦型写真のときだけデザインフォーマットを変えることにはなりますが、そのほうが変化があって面白いのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
木下会長	<p>これまで縦型の写真は、どのように対応していましたか。</p>
事務局	<p>これまで、すべてスケジュールを書き込める形式で作成していたため、現在のような形になっていたと思います。</p> <p>黒塗りについては、田邊先生も「成果品としては良いが、印刷は難しいのではないか」とおっしゃっていました。</p> <p>カレンダーは市のホームページでも公開し、誰でもダウンロードして印刷できる形にします。</p> <p>その際、一般的なプリンターでの印刷を考えると、黒で締まるデザインは魅力的ですが、印刷面では課題もあると考えられます。</p>
木下会長	<p>黒インクはもったいないという意見もあります。どうでしょうか。確かに縦型はレイアウトが難しいですね。</p> <p>拡大するとトリミングになってしまいますし。</p> <p>日玉を縦に並べる、または寄せるという案は可能でしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見を伺い、私がイメージしたのは、下部スペースをなくすことで写真を大</p>

	<p>きくできるという点です。</p> <p>写真は同じ比率で拡大し、左右どちらかに寄せ、反対側に日玉を通常のカレンダー形式（7列×4行など）で置くという形も可能だと思います。</p>
木下会長	<p>もし縦にした場合、この黒塗りはもう白にしてしまう感じですか。</p>
佐久間委員	<p>そうです。黒は見た目が締まりますが、汚れやすく、仕上がりも難しいため、なるべく使用しない方がよいと思います。</p>
森田委員	<p>このカレンダーはWebで利用するものですか。Webからダウンロードして使うのでしょうか。</p>
事務局	<p>ダウンロードして印刷して使っていただきます。</p> <p>写真を採用した方には、事務局から印刷したものをプレゼントする予定です。</p>
森田委員	<p>つまり、印刷方法は人それぞれですね。</p> <p>紙で印刷する方もいれば、印画紙のような光沢紙に印刷する方もいるかもしれません。</p> <p>Web上で見て感じが良ければ良いのではと思います。</p> <p>レイアウトが月によって異なると説明が必要になるかもしれませんし、一般の方には分かりにくいかもしれません。</p> <p>そのため、同じ形式で統一した方がよいと思います。</p>
事務局	<p>背景を白で作成することも試したいと思います。</p> <p>また、意見が多かったように横型の写真を選ぶという方法もあります。</p>
木下会長	<p>今回2種類のタイプを作成したことについても、ご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>お願いいたします。小川委員。</p>
小川委員	<p>私はこのカレンダーを毎年楽しみにしており、関心があります。</p> <p>スケジュールを書き込める利便性が重要であり、また景観写真を見て「どこだろう」と探す楽しさもあります。</p> <p>あまり複雑にするより、市民の方々が楽しみにし、奪い合いになるような魅力が大事だと思います。</p>

	<p>技術的なものを追求し過ぎず、利便性を第一に、佐倉らしさが表れていることが重要だと感じました。</p> <p>以上です。</p>
木下会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今のご意見は、メモを書き込めるタイプの方がよいということでしょうか。</p>
小川委員	<p>私はメモを兼ねています。カレンダーは生活に欠かせないので、大切です。</p>
山崎委員	<p>私はカレンダーをインテリアの一部として使っています。</p> <p>それで自分のメモというのはコンパクトに机の上に置いて、というように割り切っているものですから、インテリアの一部としてカレンダーを使うというと、やはり絵面として「佐倉らしさ」が感じられることを重視しています。</p> <p>ですから、今意見もありましたけど周りが黒くて云々ということもありましたが、黒地のほうが締まるのであれば、コストの問題はありますが黒でよいと思います。</p>
木下会長	<p>分かりました。</p> <p>カレンダーに求めるものは人それぞれのようなので、2タイプの用意は良かったと思います。</p> <p>まず、この2タイプで進めてよろしいでしょうか。</p> <p>次に背景について、縦型写真の黒塗りをどうするかという問題があります。調整するのか、このままいくのか。</p> <p>これも意見が分かれていますので、事務局に一任してよろしいでしょうか。</p> <p>印刷の加減や過去の作例を踏まえて検討し、家庭用プリンターで印刷することも考慮する必要がありそうです。</p> <p>横と縦で、これも2種類に分けるという方法もあります。季節ごとに写真が集まりますかね。</p>
事務局	<p>縦型のみタイプなども考えてみようと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
木下会長	<p>ということで、作業は増えますが、その方向で検討していただいてよろしいでしょうか。</p>

<p>中島副会長</p>	<p>中島委員、今の件に限らず全般的にご意見があればお願いいたします。</p> <p>委員で投票して集計された結果ですので、カレンダーに選ばれた写真については問題ないと思います。</p> <p>また、景観の価値を普及啓発する流れとして、写真を公募しカレンダーにまとめる取組はとても良いと考えます。</p> <p>ただ、より完成度の高いカレンダーを作るためには、写真の集め方の段階から、デザインやレイアウトを意識して募集する方法もあると思います。</p> <p>例えば「今年は縦型で統一する」など募集時から方針を示すことで、出口の完成度が上がります。</p> <p>集まったものから選んで、そこからレイアウトを考えるという流れだと、どうしても難しい議論になりがちです。</p> <p>次回以降は、応募段階から出口までの工程を整理して取り組むことが望ましいと考えます。</p>
<p>木下会長</p>	<p>では、事務局で検討し、その結果を皆様に報告するという形でよろしいでしょうか。</p> <p>次回に向けては、中島委員のご意見のとおり、応募段階から出口までを見据え、レイアウトも含めて質を高める取組を検討してまいります。</p> <p>カレンダーにつきましては、以上とさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>カレンダーについては、永村先生から、JR 佐倉駅の掲示板などに月ごとに掲示するものよいのではないかとのご意見もいただいています。</p> <p>より関心を高めていただけるよう、今年の4月以降、そのような形で進めていきたいと考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>【議題説明】</p> <p>2. その他（報告事項）</p> <p>===== 景観アドバイザー協議報告 =====</p> <p>続いて、</p> <p>===== まち歩きセミナー開催のお知らせ =====</p>
<p>木下会長</p>	<p>説明ありがとうございました。</p> <p>議事としましては報告事項に入っております。</p>

<p>中島副会長</p>	<p>今、2件の報告事項（アドバイザー協議案件・まち歩きセミナー）についてご説明いただきました。</p> <p>何かご質問、ご意見があればお願いいたします。</p> <p>中島先生、補足やコメントがあればお願いいたします。</p> <p>今年度は公共施設の外壁塗り替えが3件ほどありました。</p> <p>外壁、特に色彩に関しては田邊先生の専門的な見地を中心にアドバイスを続けています。</p> <p>また、小規模なものとしては新町地区の住宅の建替えなど、新築・改築を含めて3件程度ありました。</p> <p>以前よりアドバイスのタイミングや進行面で意見をいただきながら進めており、今年も10件弱のアドバイスができました。</p>
<p>木下会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様から、何かございますでしょうか。</p> <p>森田委員。</p>
<p>森田委員</p>	<p>問題といたしますか、</p> <p>ちょうど新町地区のお話がありましたが、今、ローソンの前の、美容室跡から、その後ろにあった魚屋さんまでの一帯が解体され、4区画に分けられ、分譲住宅として販売されており、そこに一般的な住宅が建とうとしています。</p> <p>新町地区は、こうして普通の住宅地になっていってしまうのか。せっかく旧今井家住宅も市の文化財にさせていただいたのですが。</p> <p>空き地や廃業された場所が不動産会社を買われ、更地にされ、結局分譲される状況です。落ち着いていて安い土地ということで、新町地区では、サイディング張りの住宅が建ってきています。</p> <p>佐倉市の景観条例では、建築物の材質の制限について定めがないため、そのようなサイディング張りの建売住宅ばかりの町並みに変わっていくのではないかと心配しております。</p> <p>とはいえ、行政でも、現在の決まりの範囲では対応が難しいことも理解しています。</p> <p>だからこそ、中島先生や木下さんに、何か手立てがないか伺いたい。</p> <p>難しいのは承知していますが、何かできる方法はないでしょうか。</p>
<p>木下会長</p>	<p>これは難しい問題ですね。</p>

<p>中島副会長</p>	<p>中島先生、ぜひよろしく申し上げます。</p> <p>森田委員のお話にある場所は、景観アドバイザー協議にもかけられた案件だと思います。</p> <p>私も、あの4区画の分譲住宅計画は、新町地区の景観として適切ではないと感じています。</p> <p>ただ、現行制度では、委員がおっしゃるとおり「建てられてしまう」という面があります。</p> <p>その中で、アドバイザーとして可能な限りの助言を行い、事業者側の対応を待っている状況です。</p> <p>新町地区全体として、景観条例の規制が十分とは言えないことも事実です。</p> <p>別の方法として、地区計画など、より強い形態規制を導入し、地区全体の価値が上がるような仕組みが必要かもしれません。</p> <p>景観計画・条例を定めて7～8年経ちます。</p> <p>住民の皆さんも、一定の理解を得ながら生活されています。</p> <p>「これで良いのか」という点について、上乘せのルールを検討する段階に来ていると思います。</p> <p>景観審議会として、この課題を議論することには大きな意義があり、良い機会だと思います。</p>
<p>木下会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>何か事務局の方で、この件についてコメントがあればお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>都市計画課としても、新町通りは景観重点地区に指定しておりますし、夢咲くら館や図書館整備を通じてにぎわい創出も目指しています。</p> <p>地区計画等の手法もありますが、その策定には地権者や地域の理解と協力が不可欠です。</p> <p>まずは、新町協議会など地域の皆様のお話を伺いながら、検討を進めていく必要があると考えています。</p>
<p>森田委員</p>	<p>これまでこうした機会は多くあったと思います。こういった分譲住宅を購入して新しく入ってきた方々が、新町地区の景観について、地元の住民と同じような意識を持つ、ということはなかなか難しくなってくると思うのです。</p> <p>4区画すべてが売れなければ、将来的に二つまとめてアパートが建つ可能性もある、そのような世界だと思うので、そろそろ危機感を持つべきだと思います。</p>

	<p>ぜひ対応をお願いします。</p>
木下会長	<p>小川委員、お願いします。</p>
小川委員	<p>私は新町の中心部に住んでおりますが、行政、協議会、商店街の三者が連携できていない現状があります。</p> <p>行政から新町協議会へ明確な提案や指針が示されていないため、協議会としても何も動けていません。</p> <p>その間に、不動産業者が次々と土地を取得してしまうのが現実です。</p> <p>「佐倉新町江戸まさり」という名称はありますが、実態が伴っておらず、このままでは何も残らないです。</p> <p>栄町の元ヤックス跡地など、公益性のある土地についても、どうすべきか議論する場がなく、地域住民は関心があり、将来に強い不安もあります。</p> <p>行政と住民のコミュニケーションをもっと密にし、何度も協議する場が必要です。</p>
木下会長	<p>はい。この件は景観アドバイザー協議の案件ということで、この場で議論する正当性があると考えます。</p> <p>中島先生の先ほどの提案について、この件を景観審議会で議題として扱うことは可能でしょうか。</p> <p>行政が地権者と話すにも根拠が必要だと思いますが、これは議論すべきテーマだと考えています。根拠等が必要とは思いますが、小川委員からご提案のあったように、行政が地権者と密にコミュニケーションを取るということは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>佐倉市といたしましても、地域の方々、協議会等にもご協力をいただきながら、何か考えていければというところで思っております。まずはこういった貴重なご意見をいただきましたので、土木、観光、企画といった関係部局に共有させていただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆さんにもご協力いただきながら、考えることができればと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
木下会長	<p>そうやってきたときに先ほど中島先生の方からご提案がありましたけれど、景観審議会として、この件で何ができるかというのはなかなか難しいところもあるかと思いますが、中島先生から先ほど議題として議論してもいいんじゃないかというご提案がありました。</p>

中島副会長	<p>そういうことは可能でしょうか。</p> <p>私も議題として扱うべきだと思います。</p> <p>方向性を決めるというより、皆さんで広く意見交換をする場が必要ではないでしょうか。</p> <p>中島先生、補足があればお願いします。</p> <p>景観計画の見直し時期も考える必要があります。</p> <p>景観計画を作ったことで「何ができるようになったか」「何ができなかったか」を整理し、新町協議会と一緒にレビューすべき時期だと思います。</p> <p>景観審議会で議題として扱うことには意義がありますし、今期でぜひ進められると良いと考えます。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>この場で「実施します」と即答はできませんが、担当部局・関係部局と共有した上で検討させていただきます。</p>
木下会長	<p>以上をもちまして、令和7年度第2回佐倉景観審議会を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>